

小児在宅ケア研究会 会報



小児在宅ケア研究会 <http://hc-cf.jp/>

第20号 2025年8月19日

年々厳しさを増す夏の暑さに、地球温暖化の影響を実感する日々が続いています。さて、今年度の小児在宅ケア研究会年次集会は、第20回という記念すべき節目を迎えました。それに合わせて、本会報も第20号の発行となります。年次集会では、小児在宅ケアコーディネーター研修会の修了生の方々にご登壇いただき、研修会終了後の活動について貴重なお話を伺うことができました。その内容は、年次集会の報告の中でご紹介しております。ぜひ一読いただき、皆さまの今後の活動の一助となれば幸いです。

2025年度小児在宅ケア研究会 第20回年次集会の報告

この号の内容

- 1 小児在宅ケア研究会第20回年次集会の報告
- 2 2025年度の総会報告
- 3 編集後記

2025年度
第20回小児在宅ケア研究会年次集会



発表者

2025年度第20回小児在宅ケア研究会年次集会を、6月14日（土）に京都橘大学にて、「こどもや家族との相互作用を通して在宅ケアを支える」をテーマに開催いたしました。例年同様、オンラインでの参加も可能とし、会場参加73名、オンライン参加30名、合計103名の方々にご参加いただきました。

年次集会では、研究報告1件、活動報告3件の発表があり、最後にチャイルド・ライフ・スペシャリストの佐々木美和先生にご講演をいただきました。

研究報告では、医療的ケア児の災害支援に関する文献検討が発表されました。国内外の文献をもとに、災害時における課題や支援体制について分析され、自助の推進、多職種による共助・公助の連携体制の整備などが重要な課題であることが報告されました。自然災害の多い日本において、これらは喫緊の課題であり、真摯に向き合う必要性を再認識する機会となりました。

活動報告の1件目では、フィンランドのNICUやネウボラでの交流を通し、どのような状況下でも「いつでも家族である」と家族が実感できるよう支えることの重要性が報告されました。私たち看護職は、こどもやご家族を中心に据え、その生活を支える必要性を改めて実感しました。

活動報告の2件目は、医療的ケアが必要となったお子さんとそのご家族を継続的に支援するために、病棟看護師・外来看護師・訪問看護ステーションの看護師がオンラインで意見交換を行った取り組みについての発表でした。参加した看護職だけでなく、ご家族にとっても有益であったことが報告されました。継続支援は困難を伴うことが多いですが、その課題に対して前向きに取り組む姿勢の大切さを感じました。また、この発表者は研修会の修了生であり、研修会での学びを活かして、継続的に医療的ケア児の支援に携わっていることも併せて報告されました。

活動報告の3件目も研修会修了生によるもので、NICUやGCUにおける医療的ケア児の在宅移行支援についての発表でした。研修会での学びをもとに、在宅移行支援においては、家族の思いや「家族らしく過ごすこと」を大切にしたい支援が行われていることが報告されました。

修了生2名の発表を通じて、研修会での学びが看護の実践に活かされていることを知り、大変うれしく思いました。

最後に、チャイルド・ライフ・スペシャリストの佐々木美和先生より、「子どもの心を聴くために」というテーマで、お子さんやそのご家族とのこれまでのご経験についてお話を伺いました。先生のご講演は、聴く人の心を揺さぶる深い内容であり、参加者は佐々木先生のお話に引き込まれ、講演時間はあっという間に過ぎていきました。子どもや家族に関わる同じ専門職として多くの学びがありました。その学びを生かし、今後も子どもや家族の最善のために努力を続けていきたいと感じました。

ご参加いただいた皆様のうち、49 名の方にアンケートへのご協力をいただきました。年次集会の感想については、95%の方が「満足した」と回答されており、自由記述からも多くの学びが得られたことが明らかになりました。アンケートの詳細につきましても皆様にお送りいたしますので、ぜひご覧ください。

また来年の年次集会で皆様にお会いできることを楽しみにしております。

文責 小児在宅ケア研究会副会長 京都橘大学看護学部 堀妙子

2024年度小児在宅ケア研究会総会の報告

2025 年度小児在宅ケア研究会総会が、年次集会と同日の 6 月 14 日に開催されました。

報告事項では、事務局報告で現在の会員数（122 名）の報告がされ、その後 2024 年度の活動報告が行われました。審議事項では、2024 年度の決算・会計監査（案）、役員・運営委員の改選（2025～2026 年度）、2025 年度の活動計画（案）、2025 年度の予算（案）に関する審議が行われ、全ての事項について承認が得られました。詳しくは、総会資料、議事録等をご覧ください。



編集後記

小児在宅ケア研究会の年次集会は、今年度で第 20 回を迎えました。第 1 回目の年次集会は 2005 年に名古屋市内で終日開催され、第 3 回目からは現在のように午後からの開催形式へと変更されました。2019 年からは開催地を京都に移しました。2020 年は新型コロナウイルスの影響により開催を見送りましたが、2021 年はオンラインにて年次集会を開催し、2023 年以降は現地開催とオンライン参加の併用を継続して、今年で 3 年目となりました。

このように年次集会を継続して開催できていることは、ひとえに皆様のご支援とご協力のおかげです。改めて心より感謝申し上げます。今後も「参加してよかった」と思っただけのような年次集会を企画・運営してまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

なお、年度末に連絡先の変更を予定されている方や、退会をご希望の方につきましては、恐れ入りますが、下記の小児在宅ケア研究会事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

小児在宅ケア研究会事務局（京都橘大学看護学部：担当 伊藤・堀）

E-mail chc@tachibana-u.ac.jp FAX 075-574-4266